

事業コード	H17-農-新-6		区 分	国庫補助	県単独
事業名	治山事業(水土保全林整備事業)		部局課室名	農林水産部 森林整備課	
事業種別	地域防災対策総合治山		班 名	治山防災班 (tel) 018-860-1943	
路線名等	薊沢		担当課長名	佐々木 誠	
箇所名	雄勝郡羽後町西馬音内堀廻字薊沢		担当者名	主幹兼班長 浅野 昌成	
総合計画との関連	政策コード	C	政 策 名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	02	施 策 名	災害に強い県土づくり	
	指標コード	04	施策目標(指標)名	保安林整備面積	

1. 事業の概要

事業期間	H18 ~ H21 (4年)		総事業費	4.8億円	国庫補助率	50%	
事業規模	溪間工7基、護岸工340m、山腹工3ha、集水ボーリング1800m、森林造成0.7ha、森林整備3.4ha						
事業の立案に至る背景	平成17年4月頃に融雪により林地3haが崩落し、不安定化した土砂の脚部が沢を閉塞し、さらに林道薊沢線も閉塞した。現在崩落は停止しているが、沢を閉塞しているためダム湖を形成する恐れがあり、ダムが決壊した場合には土石流となって下流域に災害を及ぼす危険がある。また、今回崩落した箇所の周辺には山地災害危険地が存在することから一体的に荒廃地の復旧整備、水土保全機能の高度発揮を図るため森林整備を併せて実施したい。						
事業目的	下記の保全対象を守るため、地域防災対策総合治山事業を実施する。 人家 75戸、道路 1,500m、田畑 20ha、元西小学校、元西郵便局、 一級河川西馬内川						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度以降
	事業費		480,000	90,000	130,000	200,000	60,000
	経費 内訳	工事費	437,300	62,600	121,800	196,800	56,100
		用補費	4,600	2,400	400	400	1,400
		その他	38,100	25,000	7,800	2,800	2,500
	財源 内訳	国庫補助	240,000	45,000	65,000	100,000	30,000
		県 債	216,000	40,000	58,000	90,000	28,000
その他							
一般財源		24,000	5,000	7,000	10,000	2,000	
事業内容		溪間工 7基 山腹工 3ha 護岸工 340m ほか	溪間工 1基 作業道 1式	溪間工 3基 護岸工 340m ボ-リング 1800m	山腹工 3ha	溪間工 3基 森林整 3.4ha 森林造 0.7ha	
調査経緯	平成17年4月の土砂崩落により山地災害危険地調査を実施した。						
上位計画での位置付け	「あきた21総合計画」第2期実施計画において、「災害に強い県土づくり」の施策として位置付けられている。						
関連プロジェクト等	なし						
事業を取り巻く情勢の変化	近年、全国各地において集中豪雨等に伴う土砂災害が発生しており、生命財産を一瞬にして奪う土砂災害に対して、対策事業の要請は高い。						
事業効率把握の手法	指 標 名	保安林の累積整備面積(ha)					
	指 標 式	整備面積累計					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	5,180 ha		データ等の出典	保安林整備面積調査		
	達成値 b	6,387 ha					
達成率 b/a	123 %		把握の時期	平成17年 3月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	森林法、国有林野事業特別会計法によって県が実施する事業としている。 平成17年4月頃に融雪が原因と思われる林地崩壊が発生し沢を閉塞したためダム湖を形成する恐れがある。ダムが決壊した場合には土石流が発生するため対策工事が必要である。	18点
緊 急 性	大量の土砂が沢を閉塞していることからダム湖が形成されて、それが決壊した場合には土石流となり下流域に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、早急に対策工事を実施する必要がある。	20点
有 効 性	県の「災害に強い県土づくり」実現のため、地域防災対策総合治山事業の有効性は高い。 2箇所の山地災害危険地区があり、地域防災対策総合治山事業により、山腹崩壊対策、土石流対策等総合的な山地災害危険地区対策を緊急に整備でき、有効性は高い。	16点
効 率 性	事業の費用対便益比は3.84であり効率性は高い。 総費用 452百万円 総便益 1,737百万円 現場発生材の有効活用等、各段階においてコスト縮減の検討を行う。	16点
熟 度	羽後町から事業施行申請が提出されており、合意形成は図られている。 地域住民や関係者に避難態勢を徹底されている。 下流域に県道があるため道路管理者が土石流センサーを設置している。	20点
判 定	ランク ()	90点
	すべての観点において評価点が高く、住民の安全・安心な暮らしを実現する上でも優先度の高い事業箇所であり、新規事業として実施すべきと考える。	
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 各観点の評価結果から、新規事業実施箇所として優先度は高く、事業は実施すべきと考える。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	局地的な大雨が上流部に貯留しダム湖を形成した場合、土石流と化して大きな被害を誘発する可能性も高いため、緊急的な対応も含めた対策を実施することは妥当である。なお、施工箇所を必要最小限にとどめるほか、コストの縮減にも取り組む必要がある。

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	今回の崩落により、沢及び林道が閉塞しており、その閉塞部分がダム湖を形成し、集中豪雨等により決壊し土石流化する恐れがあり、人家及び県道などが被災する可能性があることから、事業実施は適当と認められる。なお、事業実施にあたっては、可能な限りのコスト縮減を図るとともに、予算の枠配分の範囲内での実施を厳守すること。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所を国に新規要望する。 ・事業実施にあたっては、コスト縮減に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価及び対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所評価
適用基準名 水土保全治山事業

事業コード(H17-農-新-6)
箇所名 (雄勝郡羽後町西馬音内堀廻字薊沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性					
	県関与の必要性	法令等で県が実施する事業 県が実施すべき広域的な事業 県が実施した方が望ましい事業	5 3 1	5		
	社会経済情勢変化による需要変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 1	5		
	荒廃森林面積	50 ha以上 10 ha ~ 50 ha未満 10 ha未満	5 3 1	3		
	手段の妥当性					
	代替手段の有無	手段に代替性がない 代替性はないが改善の余地がある 他の手段と比較検討する余地有り	5 3 1	5		
	計			20	18	
	緊急性	災害発生危険度				
		土石流・山腹崩壊の兆候	早急な対応が全体的に必要 部分的には早急な対応が必要 緊急ではないが将来的に必要	5 3 1	5	
		直近の災害発生	発生から3年以内 発生から4年~10年以内 それ以上前の記録がある	5 3 1	5	
事業未実施の影響		事業効果や効率性、周辺への影響が大 事業効果や効率性、周辺への影響が小	5 1	5		
周辺整備状況との関連		周辺との関連で急ぐ必要がある 特に関連はない	5 1	5		
計			20	20		
有効性	期待される具体的な効果					
	保全対象人家戸数	50戸以上 35戸~49戸 25戸~34戸	5 3 1	5		
	公共施設等の有無	5施設以上 2施設~4施設 1施設または無し	5 3 1	5		
	山地災害危険地区の進捗	5地区以上 3地区~4地区 1地区~2地区	5 3 1	1		
	上位計画への貢献度					
	あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い 施策目標に間接的に貢献する 施策目標とは別のその他関連事業である	5 3 1	5		
計			20	16		
効率性	事業の投資効果					
	費用対効果	B/C = 2.0以上 B/C = 2.0未満	5 3	5		
	動植物への配慮及び対応策	十分な対策をしている 今後検討する	5 1	5		
	今後他事業計画はあるのか	長期計画も含めて計画がある 10年以内にはない	5 1	1		
	コスト縮減の検討					
コスト縮減計画	具体的な計画がある 具体的な計画はないが検討中	5 3	5			
計			20	16		
熟度	地元との合意形成の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている 意向が強く要件の同意を概ね得ている 要件の同意を得ていない、または、調整中	5 3 1	5		
	地元市町村対応	説明会を実施している 市町村要望書がある その他	5 3 1	5		
	地域の推進体制	事業推進協議会等が設立されている 今後検討する余地はある	5 1	5		
	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	十分に配慮されている 配慮しているが不十分である 配慮していない、または、検討中	5 3 1	5		
計			20	20		
合計			100	90		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		